

## Press Release

本資料は、ロンドンおよびボストンにて7月12日に配信した発表資料の参考訳です

報道関係各位

### ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズによる、2016 年下半期グローバル市場見通し 市場のボラティリティと地政学的な不安定感が 2016 年を通じて継続 投資家にとり「低水準かつ緩慢」な成長見通しと、ボラティリティのリターンが課題に

**【2016 年 7 月 15 日、東京】** 米ステート・ストリート・コーポレーション (NYSE: STT) の資産運用部門であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ (以下「SSGA」) は、2016 年下半期の市場の見通しと主要な投資テーマについて発表しました。

SSGA の今年下半期のグローバル市場の見通しにおいて、英国の EU 離脱 (Brexit) 決議の余波を受け、投資家が今後の課題に対応できるよう投資戦略を見直すと共に、ボラティリティの高い市場を切り抜けるため防衛的な戦略が必要であることを強調しています。また、投資家は低成長の続く環境においてリスク調整後収益を改善するため、中核となるエクスポージャーの再構築を検討するべきと考えています。

SSGA のグローバル・チーフ・インベストメント・オフィサーであるリック・ラカイエは、次のように述べています。「今年末に向けて、一連の地政学的要因を引き金としたボラティリティの急上昇が市場を特徴づける要素になると予想しています。英国の EU 離脱に関する国民投票の結果が特に短期的ボラティリティの主な原因ですが、今後の過程に伴い、数ヶ月にわたってその影響が及ぶと思われます。長期的には、市場がより幅広いグローバル経済成長への懸念、各国中央銀行が景気をどの程度刺激できるか、また米国と欧州における選挙を含むその他の地政学的なイベントの影響を受け、ボラティリティは、市場の特徴のひとつであり続けると予想されます」

#### ボラティリティの克服

投資家は下落リスクを一定の範囲に留めると共に、上昇リスクの取り込みが可能なボラティリティ戦略を検討することが必要であると SSGA は考えています。マネージドボラティリティ戦略、あるいは低ボラティリティ戦略は引き続き期待できる選択肢であり、また目標ボラティリティ・トリガーの利用もポートフォリオ全体のボラティリティを一定の範囲内に抑えられる可能性があります。

「今年初めに、地政学的な不安定さと構造的要因により、高ボラティリティの市場が当分の間継続すると予想しました。2016 年上半期についてはこれが正しかったことが立証され、またボラティリティの高さは下半期にも継続する可能性が高いと思われます。いつも言われているように、保険を掛ける最適なタイミングはそれが必要になる前です」と、SSGA のチーフ・ポートフォリオ・ストラテジストであるロリ・ヘイネルは述べています。

## 米国の利率予想を下方修正

米連邦準備制度理事会(以下、FRB)は2006年以来初めての利上げを2015年12月に行いましたが、それに続く利上げは米国指標のいくつかが低調であり、また米国外の経済状況が不透明であるために実施できていません。

SSGAのチーフ・エコノミストであるクリストファー・プロビンは、次のように述べています。「今年行われる利上げは1回のみで、おそらく12月になると予想しています。またFRB自身が来年について予測する利上げの道筋についても、より低水準かつ長期化する方向に変更される可能性があると考えています。現在直面する金融政策における発動余地の非対称性を考えると、急激な環境悪化に対応するためのFRBの手段は限られており、したがってFRBは引き締めを、過剰かつ早過ぎる段階で行うという失敗を避けたいと強く考えているのです」

ラカイエは次のように結論づけます。「総合的に見て、低成長の環境が予想通りに継続しており、したがって投資家はリターン目標を調整するか、あるいはより大きなリスクと複雑さを受け入れるかの選択を求められていると考えております。可能な場合にはリターンを高めるためファクター・エクスポージャーを組み込み、また新しい効率的な形態のアルファ生成手段を見いだすことにより配分を見直すことを、SSGAは引き続き推奨します。ポートフォリオからのリターンをさらに高めるため、一連のファクターに関して多様化を図ることは今後も魅力ある手段となります」

「2016年下半期グローバル市場見通し」(日本語版)全文は[こちら](#)からご覧いただけます。

英国のEU離脱がグローバルな投資市場に及ぼす、直近および長期の影響に関する分析は[こちら](#)をご覧ください。

## ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSGA)について

約40年にわたり、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(以下「SSGA」)は、お客様とのお客様を頼る多くの方々に対して財務面でご支援させて頂くことに強い決意で臨んで参りました。SSGAは、世界でも最大級で最も高度な機関投資家や金融法人のパートナーとして、インデックス運用からアクティブ運用にまで至る、厳密かつリサーチ主導の投資プロセスを通して、パートナーの目標達成のお手伝いをいたします。運用資産残高が数兆ドル\*に及ぶ当社は、そのスケールとグローバルな組織展開により、あらゆる市場、地域、資産クラスへのアクセスはもとより、考え抜かれた考察と革新的なソリューションをお客様にお届けいたします。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズはステート・ストリート・コーポレーションの資産運用部門です。

\* 2016年3月31日現在の運用資産残高は2兆ドルです。この運用資産残高には、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズの関連会社であり、販売代理店であるステート・ストリート・グローバル・マーケットズ LLCの運用資産残高約330億ドル(2016年3月31日現在)が含まれています。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

ステート・ストリート	広報部	03-4530-7104	Japan_Corp_Comms@jp.statestreet.com
広報窓口(エデルマン・ジャパン)	岡本	03-4360-9000	StateStreetJapan@edelman.com

＜免責事項＞

投資には、元本を失うリスクなどのリスクがあります。

当資料には将来予測の表明とみなされ得る一定の情報が含まれる場合があります。SSGA が将来起こる、あるいは起こり得ると考えるか、あるいは予想する行動、出来事、または展開を示す本文書に記載されるあらゆる表明は、歴史的事実を除いて、将来予測の表明です。こうした表明は、SSGA がその経験と歴史的趨勢の認識、現在の条件、予想される将来の展開その他の要因に照らして行い、本資料でその多くを説明している一定の仮定と分析に基づいています。そうした表明は、その多くが SSGA の統制下でない数々の仮定、リスク、不確実性に従います。そうした表明が将来の運用成果を保証するものではなく、実際の結果や展開が将来予測の表明に示されるそうした予想とは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

本資料に含まれている情報は投資助言ではなく、投資助言として当てにしてはなりません。それを、特定の証券を購入する勧誘とも売却する提案ともみなすべきではありません。それは、いかなる特定の投資家の投資目的、投資戦略、課税状況や投資期間も考慮していません。税理士および財務アドバイザーにご相談ください。すべての資料は信頼できると考えられる情報源から入手しております。情報の正確性に関するいかなる表明も保証もしておらず、ステート・ストリートは係る情報に基づく意志決定に関していかなる責任も有していません。

JPMKT-1890